

# 南三陸てん店マップ入賞

## 点在店舗紹介復興後押し

南三陸町内の企業や商店でつくる 東日本大震災で被災した町内に点在する店をつなぐ地道な活動が評三陸てん店マップを活用した地域経済再生への取り組みが、2018年度の「ジャパン・ツーリズム・アワード」地域部門で入賞した。

充実させ、地域を盛り上げたい」と意欲を見せている。

マップはA2判で、町内の飲食店や生活用品店、宿泊施設など74カ所の情報を掲載できる地図も載せた。復興が進む町を巡ってもらう

ため、13年に掲載店などで配布を始めた。定期的に内容を更新し、これまでに23万部を作った。

多くの店に足を運んでもらおうと、マップを使ったスタンプラリーも企画。各店で押してもらったスタンプの数に応じ、温泉入浴券や地元の海産物などの詰め合わせがもらえる。



南三陸町の商店や宿泊施設を紹介する南三陸てん店マップ

町内では津波で被災し、震災前の場所から移転を余儀なくされた店が多い。協議会事務局長を務める南三陸ホテル観洋のおかみ阿部憲子さん(56)は「震災から立ち上がった店を多くの人に巡ってほしいと願ってマップを作った。今後とも知恵を絞り、町の活性化や交流人口の拡大に寄与したい」と話す。

2018年10月6日  
【河北新報】